

20世纪物理学力证成光耀耀的雄伟诗、攻克序章之诗歌。物理学的雄伟诗、攻克序章之诗歌。



ジンは、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、にて、Patek Philippeに代わり、制作しています。

記載の内容に関しましては、Patek Philippe Forwardの見解となるものではありません。またForwardの許可なく、本誌の記載内容することを固く禁じます。

ard,
5 Regent Street,
on W1B 5DD
44 20 7734 2303
44 20 7494 2570

Naylor
y Jones
or at large
um Sieghart
irector
am Scott
itor
line Sallis
ng art editor
ne Baker
orial assistant
hen Miller
ture director
Bourgeois-Vignon
re researcher
a Carter
tributing editors
n de Burton
Stefania Coscione
Foulkes
Graf
sa Julián
beth Minchilli
les Penwarden
stopher Stocks
s Wong
yo Yasuda
n Yelavich
duction manager
Laney
rd director
en Harbin
Kristen Harbin
ueline Hoey
Patek Philippe
ina Steele
e Dircourt
ulation manager
n Pougnet
omer database director
Barker
ited by
member of
s Printers
roduction by
image Ltd
anese editorial/design
yo Yasuda
ko Tamiya
ri Kuroawa
ami Takeda
ki Akutsu
ko Nakagawa



トルコ生まれのフェリット・クヤスは、1986年より写真家として活動を始めて以来、数多くの賞に輝いている。急速に進化する重慶の都市風景をとらえた最新プロジェクト、「City of Ambition – Fast Forward in China」が大いなる成功を収め、作品集として出版されている。



受賞し、翌2005年にはノルディック・カウンシル文学賞にノミネートされるなど、作家としての名声をたちまちのうちに高めている。多くの出版社が権利を争った最新刊『Vetra són (冬の太陽)』は、2011年に世界各国で発刊予定。今回は本誌のために、愛する母国で人間と共生する馬たちと触れ合った子ども時代の経験を、回想録として書き下ろした(20ページ)。

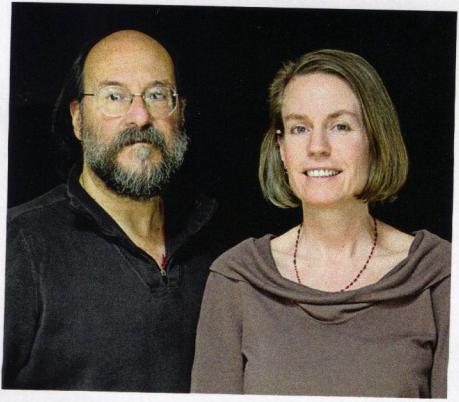


写真家ティム・フラックは、洞察力に満ちたユニークな動物の作品で知られている。初作品集『Equus』では、ロバからシマウマに至るまで、ウマ科の動物たちのダイナミックな体躯とその精神性を讚えている。今回、本誌のためにアイスランドで伝説の馬たちを撮影したフラックは、その穏やかな好奇心の示し方に心を動かされ、またその機敏さに驚きをおぼえながらも、馬たちのそうした特性こそが、厳しい土地でも生きていける所だらうと話す(20ページ)。

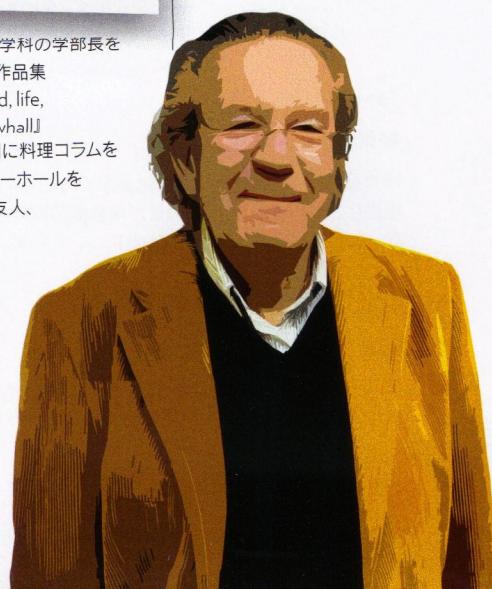
ロンドン出身の写真家ジェイソン・ベルは、数々のポートレート作品で世界的に高い評価を得ている。ニコレル・キッドマン、ジョニー・デップ、ポール・マッカートニー、デイヴィッド・ベッカムほか、著名人たちの姿をとらえた作品は、米国およびイギリスの『ヴォーグ』や『ヴァニティ・フェア』など有力誌のページを飾ってきた。また、国際広告キャンペーンや大作映画のポスターも手がけている。その傑出した写真作品で、ニューヨーク・フォト・アワードではベスト広告イメージ賞、ロイヤル・フォトグラフィック・ソサエティの年度賞ではテレンス・ドノヴァン賞に輝くなど、多くの受賞歴がある。これまでに3冊の作品集を出版し、2010年に4冊目を発表予定。本誌ではティエリー・スタンのパテック フィリップ新社長就任を祝し、その歴史的な世代交代劇の主役となる父と息子のポートレートを掲げ下ろした(14ページ)。



元建築科の学生だったクヤスが本誌で手がけたのは、バウハウスのデッサウ校舎の撮影(54ページ)。「これほどまでに多くの建築家たちに影響を与え、いまだ教育現場として機能している歴史的建築物を見ることができたのは光栄です」と語っている。



ニュー・メキシコのサンタフェ大学写真学科の学部長を務めるデイヴィッド・シャインバウムの作品集『Beaumont's Kitchen: Lessons on food, life, and photography with Beaumont Newhall』(Radius Books)は、本業の傍ら、新聞に料理コラムを寄稿していた写真史家ボーモント・ニューホールを讃えた一冊だ。同著にはボーモントの友人、アンリ・カルティエ=ブレッソンやアンセル・アダムスといった名匠による料理をテーマにした写真も掲載されている。シャインバウムは本誌でクリスティン・バレンドセン(写真上)とコラボレートし、ニューホールとの交友を回想(60ページ)。



物理学、社会学、経済学、生物学の間に横たわる境界線を探るために戦略および概念を指示する名著『Physics and Life – the relationship between physics, nature, and society』の著者、ホアキン・アロ博士はスペインはグラナダ大学の電磁気学および物質物理学科の学部長を務める教授でもある。また、カルロス1世学院の共同創設者でもあり、同校の理論・計算物理学のクラスで教鞭を執っている。本誌では、複雑な人間社会の構造を理解するために、物理学がいかに適用されているかという自身の考察を紹介(72ページ)。